



阿蘇神社は傷ついた。
見るたびに
胸が痛む。

たしろや
田代光男

阿蘇神社の横参道のすぐそばに、親しみやすい暖簾。お好み焼きもやるが、メインは回転饅頭だ。今川焼き、大判焼きなども呼ばれるあのほかほかの逸品である。店主の田代光男さんは二代目だ。兵庫県で食品企業に勤めていたが、三十五歳のとき故郷の阿蘇に戻り、伯母の跡を継ぐことになる。古稀に手が届く年齢とは見えない頑健ぶり、サラリーマン時代には柔道に精を出していた。そういえば回転饅頭を焼く真っ白い仕事着はどこか柔道着に似ている。自慢は素材だ。皮の小麦粉をはじめ、黒餡の小豆、白餡に使う白インゲンの二種大手工豆、すべて北海道から取り寄せたもの。「昔から、農家の人びとが作業の合間にほっと息ついてエネルギー補給に食べたものだから……」、親しみやすさを大切にしている。熊本地震で目の前の阿蘇神社は傷ついた。見るたびに胸が痛む。あの地震の直後、ガスが使えなかった。元の人びとに配ろうと決めたからだ。ところがどんどん客が訪れ、激励の差し入れのために大量に買っていく。配る分まで回らなかった。つらいときに少しでも役に立ったということ。それがうれしかった。



草原で知られる
阿蘇は、
馬油の名産地でもある。

阿蘇くんわの里
米川和久・櫻井諒太郎

阿蘇といえば草原そして馬。「阿蘇くんわの里」では高品質の特産の馬油が作られている。原料である馬の皮下脂肪は人間の皮脂とよく似た性質をもち、高い保湿効果の基礎化粧品となる。鳥取大学と共同で完成した天然100%の馬油オイルは、「第4回モノづくり連携大賞特別賞」をはじめ、いくつもの賞を得た。一九八二年にオープンした「阿蘇くんわの里」は障害者支援施設だ。利用者は十八歳の未成年から七十歳を超えるシニアまで幅広い。ひとりひとりの個性を尊重し、「共に支え、共に生きる」という理念でサポート活動を展開している。「阿蘇という自然環境に恵まれていることもあり、みなさんがのびのび過ごされています」。副施設長の米川和久さん(前列右から四人目)は実感をこめて言う。「この馬油の品質には自信を持っています」と誇らしげに言い切るのにはサービス管理責任者の櫻井諒太郎さん(前列中央)だ。余計なものはいっさい使っておらず、熱処理もしないので「馬油の力」がピュアなまま形になっている。熊本地震でいったん中断したが、すぐに製造再開。心から楽しんで、誇りを持って作る。それが品質の証しなのだ。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

然
zen
A s o C i t y

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。

然についてのお問い合わせは、
阿蘇市「草・観・然」活性化事業推進会議事務局(阿蘇市観光課)
TEL. 0967-22-3174 / FAX. 0967-22-4566

aso-zen.com

- 阿蘇の自然を舞台にした人びとの営みこそ大きな力を持っている、という考えで2013年秋にスタートした「然」。活動の広報として、お一人お一人のポスターを制作しています。
- 「然の人びと」は現在も取材進行中です。輝いている阿蘇人をどしどしご紹介ください。自薦他薦を問いません。

※ 掲載された内容は取材時のものです。



熊本地震の本震から1年。4月16日は市内の各地で震災復興に向け多数のイベントが開かれました。

阿蘇草原保全活動センターでは、早朝から阿蘇マルシェが開かれ、オープニングセレモニーで早期復興を願うバルーンリリースが行われました。佐藤市長の「ホップ！ステップ！！ジャンプ！！」の掛け声のもと、復興への想いを込めた300個の風船が大空に向かって放たれました。

今月の主な内容・CONTENTS

- ④ 復興への祈りを込めて...
- ⑥ 平成29年度狂犬病予防注射巡回
- ⑧ 子どもの予防接種
- ⑩ まちの話題
- ⑮ 市役所からのお知らせ
- ⑳ 暮らしの情報
- ㉒ 人権作文 阿蘇小学校2年 菊川 碧仁さん
- ㉓ カルデラ暮らし vol.5
- ㉔ 阿蘇医療センター通信 No.19
- ㉕ 図書館へ行こう！
- ㉖ 暮らしカレンダー＆お慶びご寄付
- ㉘ 阿蘇サイクルツーリズム通信
- ㉙ **NEW** 阿蘇中央の『旬』伝えます
- ㉚ 地産地消クッキング 鶏胸肉と小松菜のピリ辛炒め
さわやかフレッシュマン 鳥取大記さん
- ㉛ 阿蘇フォト on Instagram

市役所からのお知らせ

- 「道路河川環境美化コンクール」参加団体募集！ [P15]
- 6月1日は「人権擁護の日」 [P15]
- 軽自動車税の障がい者減免申請は5月31日(水)まで [P16]
- 市有地(2件)を売却します [P17]
- 戸建木造住宅の耐震診断の費用を補助します [P18]
- 住民票・戸籍の第三者交付をお知らせする事前登録制度のご案内 [P19]
- 学生納付特例制度をご存知ですか？ [P20]
- 熊本地震に関する『り災証明書』等の申請受付はお済みですか？ [P21]
- 風しん抗体検査・風しん予防接種が無料で受けられます [P21]
- 平成28年熊本地震により宅地が被災した皆さまへ [P22]
- 阿蘇農村公園あびか災害復旧工事のお知らせ [P22]
- 「高齢者の肺炎球菌感染症」予防接種 [P23]

暮らしの情報

- 行政とのパイプ役 行政相談委員のご紹介
- 食中毒に注意しましょう
- 特設人権相談所を開設します
- ホームアドバイザーによるIH料理教室・趣味講座に参加しませんか？
- 求人者の方へ

夢を追いかける青少年の声を届けます

夢を追いかけて

ぼくの夢は、建築関係の仕事につくことです。

昨年4月の熊本地震で大きな被害を受け、今はみなし仮設住宅に6人で住んでいます。そして、家を探すために、お父さんや建築会社の人もがんばっています。

以前、家を作るために、木を切ったり、かんそうしたり、加工する現場を知るツアーに行き、自分の家が出来るまでが良くわかりました。だから、建築について学べる学校に進学し、大人になったら建築関係の仕事につき、ぼくたちみたいに困っている人を助けられるようになりたいです。

島川 葵

しまかわ あおい / 阿蘇西小学校・6年

chase a dream No.39 Aoi Shimakawa